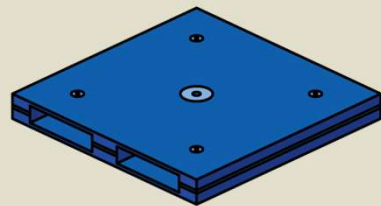
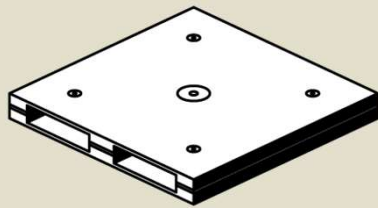


# プラスチック製 パレット

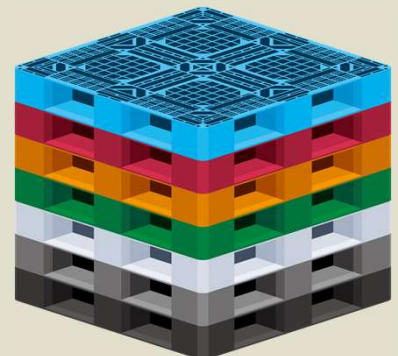
一般社団法人日本パレット協会

## 概要

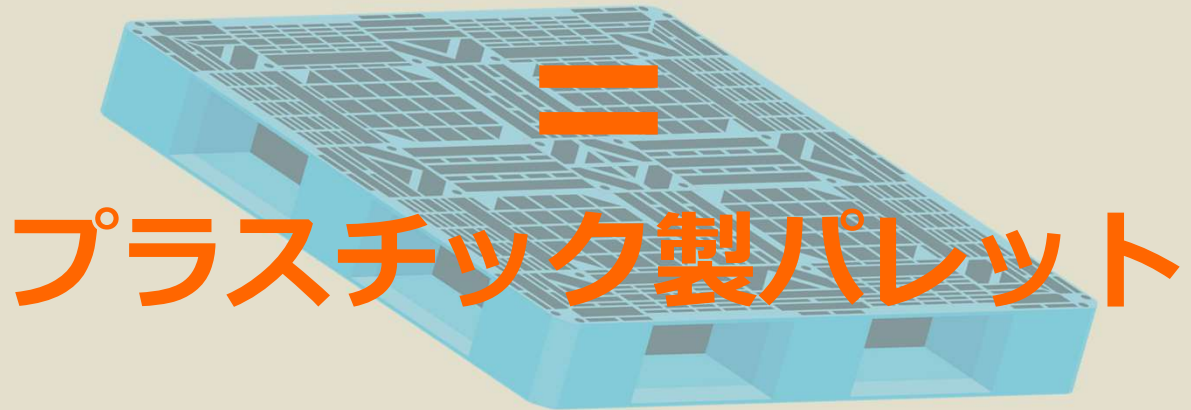
- 石油化学工業の成長を促す国の政策によりプラスチックの用途が拡大した1960年代以降に、プラスチック製パレットが市場に出回りました。当初は木製パレットが主流で、プラスチック製パレットが市場の評価を得るまでには、しばらく時間を要しました。



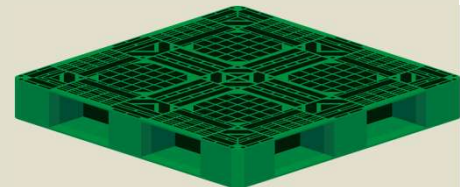
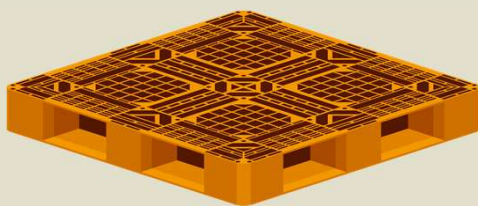
- 頻度は低いものの、パレットのカビ、害虫等のリスクを回避する需要が旺盛となりました（1990年代以降）。また、加工技術の向上により、プラスチックパレットの軽量化が進み、需要家の支持を得て生産数を継続して伸ばしており、現在では年間1,500万枚規模に達しています（2019年度の協会統計）。更に、製造各社のリサイクルシステムも強化されており、環境への配慮もなされています。



# 軽量!!



- パレットをはじめとする物流資機材は、物品を荷役、輸送、保管するための道具です。特に、輸送においては各輸送手段の積載重量に制限がありますので、物流資機材は、「より軽い」ことが重要です。
- プラスチック製パレットは、製造各社（JPA 会員各社）の長年の企業努力により、従来からの強度を損なうことなく、パレットの軽量化を実現しています。また、電子タグ等の装着が可能な仕様であるため、人手不足の克服を目的とした様々な活動に適応できる「未来志向のパレット」です。



一般社団法人日本パレット協会  
プラスチック製パレット関連会員

岐阜プラスチック工業株式会社

株式会社クレオ

三甲株式会社

住友商事ケミカル株式会社

DIC株式会社

日本パレットレンタル株式会社

日本プラパレット株式会社

株式会社明治ゴム化成

ユーピーアール株式会社

株式会社ショウワ